

教授要目: 2012 年度	鉄筋コンクリート構造 : Reinforced Concrete
2年2単位 選択必修科目 担当教員 : 吉川弘道	
<p><b>【科目概要・到達目標】</b>          [科目群 専門科目/学科共通] : 鉄筋コンクリートは、鋼材とコンクリートによる複合材料で、鉄道/道路などの都市施設、建築建屋の主要構造材料である。本科目では、<u>構造力学</u>のリハビリから始まり、<u>曲げモーメント</u>や<u>せん断力</u>を受ける部材の耐荷機構を学習する。RC構造物に対する<u>性能設計法</u>と<u>耐震設計</u>など設計手法にも触れる。          学習・教育目標の 6), 7), 9)に対応する科目。          [到達目標] ・構造力学の基本事項、・曲げモーメントとせん断力を受ける部材の耐荷機構、・RC構造物の設計法</p>	
<p><b>【成績評価】</b>          授業 : 課題の提出 (5回程度) , 出席確認 (随時) .          評価 : 提出課題 (20点) + 中間テスト (20点×2回) + 期末テスト (40点) = 100点</p>	
<p><b>【履修心得】</b>          1.毎回の授業に必ず出席 : 予習より復習が大切 : 教科書を熟読          2.課題の提出を怠りなく : 出題の意図を理解          3.工学部学生の必携品 : 教科書、電卓、ノート、定規          4.授業中回覧する模型と試験体をよく観察せよ : 触れて/押して/叩いて、理解する。</p>	
<p><b>【授業計画】 2012 年度 22C 教室</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 9/28: ガイダンス : 鉄筋コンクリートの特徴と種類</li> <li>2. 10/05 : 材料力学の復習 : 応力, ひずみ, 弾性係数</li> <li>3. 10/12 : 使用材料の力学 : コンクリート, 鉄筋 : (22A にて実施)</li> <li>4. 10/19 : 演習問題、中間テスト#1</li> <li>5. 10/26 : RC 梁部材の非線形挙動</li> <li>6. 11/02 : 曲げを受ける部材の耐荷機構</li> <li>7. 11/09 : 曲げを受ける部材の終局耐力/演習問題</li> <li>8. 11/16 : 曲げを受ける部材の終局耐力/実験演習</li> <li>9. 11/30 : スライドで見るコンクリート構造物</li> <li>10. 12/07 : 中間テスト#2 : .</li> <li>11. 12/14 : せん断力を受ける部材の耐荷機構</li> <li>12. 12/21 : せん断力を受ける部材の終局耐力</li> <li>13. 1/11 : RC構造の地震被害 : 事例に学ぶ</li> <li>14. 1/18 : RC構造の性能設計と耐震設計</li> <li>15. 試験期間中 : 授業に実施した内容</li> </ol>	
<p><b>【教科書】</b> : 鉄筋コンクリートの設計 (紅白の教科書) : 丸善出版</p>	
<p><b>【参考書】</b> : 構造力学、コンクリート工学、実験演習の資料/教科書を随時参照すること。</p>	
<p><b>【e-mail address】</b> : hyoshika@tcu.ac.jp</p>	
<p><b>【学生へのメッセージ】</b>          本科目にて、‘苦戦した構造力学’のリハビリを行い、力学分野での再浮上を期待する。          ・『耐震設計と地震リスク』 : <a href="http://www.srm-bcp.com/">http://www.srm-bcp.com/</a>          ・『もっと知りたいコンクリート講座』 <a href="http://c-pc8.civil.musashi-tech.ac.jp/RC/">http://c-pc8.civil.musashi-tech.ac.jp/RC/</a>          ・『ズームイン土木』 &amp; 『空から土木』 <a href="http://srm-bcp.com/visit_civil/index.html">http://srm-bcp.com/visit_civil/index.html</a></p>	
<p><b>【オフィスアワー】</b> 金曜日 : 4 時限 (この曜日以外も OK です)</p>	